



キッズレター

2003.05.07 発行 第82号

編集 さぬき市民病院小児科外来

はじめに

4月の終わり頃から、溶連菌性咽頭炎・扁桃炎による強い咽頭痛と発熱を訴えるお子さまが増えています。溶連菌感染症は、A群β溶連菌が咽頭・扁桃に感染して発病します。例年、冬から春先に掛けて多く見かけられます。昔、猩紅熱と呼ばれたものです。最近では、有効性の高い抗生物質を内服することで数日で軽快しますので心配は

ありません。特徴は、「赤インクを塗ったような」と表現されるほど咽頭壁が真っ赤に腫れるため、強い咽頭痛を訴えることです。更に、舌の表面が「イチゴ」のようにぶつぶつになります。

急性腎炎の原因疾病ですので、10日間以上しっかり内服して扁桃からの除菌に努めます。



小児科外来ホームページ
<http://webs.to/shounika>

目次

はじめに	1P
今月のレター(1) 「尿漏れしやすい場合」	1
ニュース&ハイライト	1
5月～6月ごろに 流行する疾病	2P
予約外来・予定一覧	2
今月のレター(2) 「母子健康手帳を 上手に活用」	2

(1) 尿漏れしやすい場合

坂口善市

小学生になっても、トイレに辿り着く前に下着をぬらしたり、いつまでも夜尿の治らないお子が少なからずいます。泌尿器科や小児科を受診して膀胱炎・腎盂炎などの尿路系の異常がない場合、いわゆる夜尿症と判断されます。さらに、昼間に尿漏れのあることから「排尿機能未熟型夜尿症」と診断されます。

治療は、未熟な排尿機能を改善するような生活指導が中心になります。

つまり、機能的膀胱容量を増やすよう排尿抑制訓練をします。簡単に言うと、膀胱にたくさんの尿を貯めることが出来るように排尿を我慢する訓練をします。

主に三つの方法があります。

Kimmel法：日中に尿意がでても「5分間ぐらい我慢する」よう指示します。徐々にできるようになります。その都度、褒めてあげて、排尿を許可します。我慢する時間を最大30分を越えるまで続けます。

帰宅後排尿抑制訓練：帰宅後に我慢の訓練を行います。溜まる尿が50mlだったのが徐々に200mlぐらいまで増加します。つまり膀胱尿量が増加して夜尿が改善します。

排尿中断訓練：排尿の途中で一旦、中断します。排尿のつど、行います。尿道の筋肉収縮機能が改善し、徐々に尿漏れしにくくなります。

さらに、排便時に排尿と一緒にしない訓練も役に立ちます。



ニュース&ハイライト

- ◆ 四月より木村正宏先生が勤務開始しています。
- ◆ 病院HPリニューアルです。
<http://www.city.sanuki.kagawa.jp/hospital/>
- ◆ 平成15年4月1日より、『大川地区小児夜間急病診察室』が開設されています。
- ◆ ポリオワクチン内服の後、一カ月空けて次のワクチンを受けましょう。

キッズレター

さぬき市民病院小児科外来
月刊情報誌

～子供たちの健康を願って～

〒769-2329

香川県さぬき市石田東甲387-1

さぬき市民病院 小児科外来

内線 310

Tell : 0879 (43) 2521

Fax : 0879 (43) 6469

Email : okawa.gh@viola.ne.jp

HP //

www.city.sanuki.kagawa.jp/
hospital/

ホームページもご覧ください。
<http://webs.to/shounika>

時候に合ったテーマで毎月
お母さま方に情報を提供さ
せていただいています。

5月から6月に流行が予想される疾病

★インフルエンザ感冒は、ほぼ終息しました。まだまだ、冬と夏の気候が交互に訪れる時期です。夏かぜウイルスによるアデノウイルス感染症が増えているようです。結膜炎を伴ったり、高熱で脱水症を併発します。

★アレルギー疾患が増悪する季節です。気管支喘息発作・アレルギー性結膜炎や鼻炎などです。ハウスダスト・ダニなどに対する対策が中心になります。他に、花粉対策も必要でしょう。たくさんの花粉を吸入すると喘息発作を起こすこともあります。

★気候が徐々に温暖になってゆく頃ですが、まだまだ冬かぜウイルスによる嘔吐下痢が続きます。乳児嘔吐下痢症と呼ばれます。白色の水様下痢が続き、脱水症を起こしやすい特徴があります。

小児科予約外来のお知らせ

・乳児健診の予定(母子手帳) 担当医: 木村医師
木曜日午後から診察です。1週間前までに予約して下さい。

5月 (8日・22日) 6月 (5日・19日)

・定期予防接種の予定 担当医: 鈴谷医師・坂口医師
印鑑・母子手帳が必要です。水曜日午後に行っています。前週金曜日が締め切り

5月 (14日・28日) 6月 (11日・25日)

・心臓外来の診察 担当医: 秋田医師
第二火曜日午後二時より実施しています。要予約です。

予定 5月13日 次回予定 6月未定

(2) 母子健康手帳を上手に活用

看護師 吉田由樹

母子健康手帳は赤ちゃんの
節目節目で、大切な役目を果
たします。健診や乳幼児発育
曲線や予防接種の記録は、そ
のまま赤ちゃんの健
康チェックとなります。
す。

次の健診や予防接
種の項目を読んでお
けば、これからの育
児の予習もできま
す。かかった病気の記録は、



医師に伝える正確情報となり
ます。「保護者の記録」欄
に、赤ちゃんをよく観察し、
気がついたことをメモしてお
きましょう。

パパやママが書き込ん
だ記録は、赤ちゃんの
めざましい成長を振り
返るとき、すばらしい
“思い出”となってよ
みがえります。

予防注射は、順調に接種できていますか。日本脳炎は、夏までに。